

「足のスポーツ外傷と障害」

慈恵医大葛飾医療センター 整形外科

窪田 誠

スポーツに伴って発生する足部，足関節の外傷・障害は，頻繁に遭遇するもので，スポーツに携わる医師や指導者は，選手に適切な処置，指示を行う必要がある。

足のスポーツ外傷として，最も頻度の高いのは足関節外側靭帯損傷で，適切に治療されないと足関節の不安定性をきたし，パフォーマンスが低下する。保存的な治療が一般的であるが，いずれの施設においても2割程度の経過不良例があり，外科的治療の必要性も議論されている。

そのほかに足部の靭帯損傷，腓骨筋腱脱臼，外脛骨障害，フライバーグ病，三角骨障害など，スポーツ活動に伴って発生しやすい問題について概説する。